



南陽市芸能

フェスティバル

十一月四日(日)シエルター
なんようホールにて、第四十
四回南陽市芸術祭のオープ
ニングとして 南陽市芸能フェ
スティバル」が開催されました。
市内で活動している芸術文
化団体による舞台での発表
です。

民話会ゆうづるからも三名
の語り部さんが出演しました。
音楽や踊りなど賑やかな
公演がある中で、民話の語り
は趣があり、会場を和ませて
いたようです。

このような大きなイベントで
の語りは、民話会ゆうづるに
大変貴重な経験となりました。

報 資料館の里鶴夕

平成30年11月20日

第 95号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

ご来場頂いた皆様、ありが
とうございました。

十一月二十五日には南陽
こども芸術祭があります。夕
鶴の里では「夕鶴の子」の会を
結成し、五名の子ども達が民
話を披露する予定です。是
非、ご来場ください。



オリジナル

マフラー展開催

七月から九月までの間、四
回にわたり染織り講習会を
行ってきました。講習会は、
デザインを考案して、真綿を
紅花で染め、糸に紡いで織り、
マフラーを完成させる予定で
したが、四回の講習会では時
間が足りず、講習会終了後
に各自、夕鶴の里に通って
いただき全員がマフラーを完成
することができました。



完成後は十一月二日から
十四日まで夕鶴の里語り部
の館、一階に展示しました。
同じ材料でも参加者の皆さ
ん一人一人個性があり見ご
たえのある展示でした。

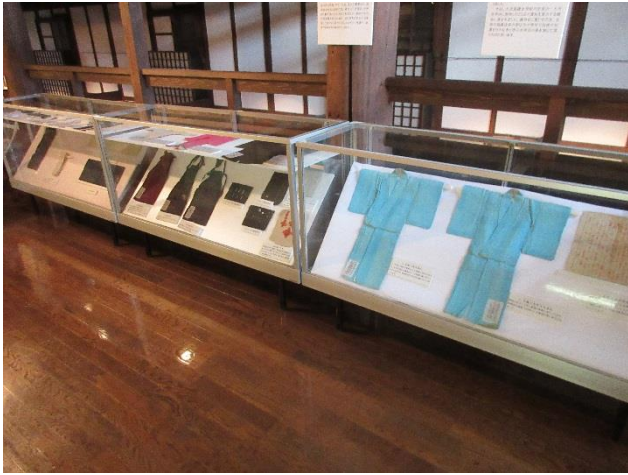
特別展

裁縫の学び方展

開催中

当館では十月十九日より特別展「元里裁縫女学校裁縫の学び方展」を開催しています。開催初日より展示を観にご来館いただきありがとうございます。

展示している大正時代の貴重な裁縫資料から当時の裁縫技術の高さを感じていただければと思います。
展示は十一月二十八日までです。是非ご来館ください。



→チケットご購入時にスタッフに特別展を観に来た旨をお伝えいただけますと詳しい解説書をお渡ししております。是非、お声掛け下さい。

展示の見どころ

九里裁縫女学校のカリキュラムです。
1年生から3年生まで学ぶ課題が書かれてあり、合格すると先生から判子を貰えました。大正時代にどのような事を学んでいたのかわかる貴重な資料です。



本科速成科過程細目

女性と袴

今回の特別展の展示資料の中に「女物襦有袴」という資料があります。



女物襦有袴

今では卒業式に女性の学生が袴をはく姿をよく目にしますが、女学生が海老茶色の袴を身に付けるようになったのは明治時代からです。しかし、当初この服装はなかなか受け入れられませんでした。というのも女性が袴をはいている姿は男装しているように思われていたためです。また、袴が女性の身のこなしの女らしさを奪うという古い価値観や帯の美しさが失われることを惜しむ声がありました。明治八年の読売新聞の投書には

「袴をはいて誠に醜くあらあらしい姿をいたすのはどういうものでありましょう」

などと書かれてあります。しかしながら、時代の流れと共に女性が袴を穿く姿は少しずつ

流行していきます。明治三十四年の読売新聞には

「近頃、海老茶袴の流行は驚くべきものだ」

という記事が登場します。今回展示されている資料は大正三年のもですが、九里裁縫女学校で海老茶色の袴が制服となったのは大正六年です。ですから、展示資料は女学生が卒業後に働く場合、自分で製作できるようにするために課題として取り上げられたのだと思います。

参考文献

- ・九里裁縫女学校裁縫の学び方展「解説資料
- ・九里学園百年の軌跡
- ・日本人のすがたと暮らし「明治・大正・昭和前期の身装」

※冬季無断駐車

※ご遠慮下さい※

場の駐車場の無断駐車は、大雪の際、大変危険です。大雪がある場合は、駐車場の無断駐車は、大雪の際、大変危険です。大雪がある場合は、駐車場の無断駐車は、大雪の際、大変危険です。